

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年5月26日発行

— 2016.5.16 ~ 2016.5.22 — 第20週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第17週	第18週	第19週	第20週
水痘		3 0.30		1 0.50		3 0.60	2 1.00	13 0.48	22 0.37	550	○	○	○	レ
流行性耳下腺炎	16 3.20		3 0.60		2 0.67			7 0.26	28 0.47	446	○	レ	○	○
百日咳	1 0.2		1 0.2						2 0.03	9				
感染性胃腸炎	49 9.80	77 7.70	34 6.80	19 9.50	16 5.33	21 4.20	2 1.00	252 9.33	470 7.97	7,867	◎	◎	◎	◎
手足口病				1 0.50					1 0.02	12				
伝染性紅斑	3 0.6	1 0.10	1 0.20		1 0.33	1 0.20		2 0.07	9 0.15	206				
突発性発しん	3 0.60	9 0.90	5 1.00	1 0.50	4 1.33			20 0.74	42 0.71	567	○	○	○	○
ヘルパンギーナ								2 0.07	2 0.03	7				
インフルエンザ	8 1.00	4 0.27	10 1.25		2 0.40	16 2.00	9 2.25	10 0.23	59 0.62	27,923	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	5 0.50		2 1.00	1 0.33	3 0.60		6 0.22	18 0.31	267				
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	55				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33 6.60	55 5.50	24 4.80	7 3.50	3 1.00	25 5.00	1 0.50	92 3.41	240 4.07	4,894	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎			2 2.00	2 2.00	1 1.00		1 1.00		6 0.50	144				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症						1 0.20		1 0.04	2 0.03	258				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1 0.20	1 0.08	11				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	2	4		1		1	3					
	川崎病								5					
	不明発疹症								2					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性2名
大崎管内 女性1名
仙台南管内 男性3名、女性4名、女児*1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: E型肝炎

仙台南管内 女性1名

つつが虫病

栗原管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

仙台南管内 男性1名、女児*1名

※男児、女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

石巻管内 第19週、20週採取分 インフルエンザウイルスB型 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第17週採取分 (4.25～5.1)	第18週採取分 (5.2～5.8)	第19週採取分 (5.9～5.15)			
インフルエンザウイルスA(H3)型	0件	1件	0件			
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	3件	1件	0件			
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	0件			
アデノウイルス	3件	0件	0件			
ライノウイルス	2件	1件	0件			

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌感染症]

石巻管内で警報継続中

[流行性耳下腺炎]

仙南管内で注意報値を超えた

4. 今週のコメント

【E型肝炎】

E型肝炎は、E型肝炎ウイルス(HEV)に汚染された食物や水の摂取で感染し、症状は黄疸など肝機能悪化や腹痛などです。まれに劇症化し、致死率は、妊婦が感染すると20%に達することがあります。全国の発生動向調査による患者報告数は、過去最高だった昨年の212人を上回るペースの報告があり、2016年20週現在で175人となっています。県内での報告数も既に4例の報告があり、昨年度1年間での報告数と同数となっています。生の豚レバーなどを提供する飲食店が増え、それにとまってE型肝炎の感染が増加したと考えられます。感染予防には、手洗いと飲食物の加熱が有効で、特に豚やジビエの肉・内臓を食べる際は十分に加熱することが大切です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kanssen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

